

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性を充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示してあります。この設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SNC-DH180/DH280

IP E L A Exmor HD

© 2010 Sony Corporation Printed in China



お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したまま破損したたら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



△警告 下記の注意を守らないと、火災や感電、落により死亡や大けがにつながることがあります。

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

特に壁に穴を開けたり、ケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。

設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

接続ケーブルを傷つけない

接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 接続ケーブルを加工したり、傷つけたりしない。
- 接続ケーブルに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 接続ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ
- また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ケーブルを窓やドアにはさみ込まない

ケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

指示

△注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

分解禁止

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご依頼ください。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときなどはご注意ください。

禁止

ぬれた手で接続プラグを触ったり、レンズやスイッチなどを操作したりしない

ぬれた手で接続プラグを触ったり、レンズやスイッチなどを操作したりすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。

禁止

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

指定した給電装置を使用する

PoEでの電源供給は、IEEE802.3afに準拠した装置を使用してください。

指示

指定の装置を使用しないと、火災や感電、けがなどの原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源を入れたままで接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

指示

移動の際は接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

指示

赤外線LEDを長時間見続けないでください。

本製品は目には見えませんが赤外線を発光しています。赤外線の熱効果により目を傷つけることがあります。

禁止

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際に受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも真合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、ユーザーガイドをご覧になってカメラを操作してください。

付属の説明書について

設置説明書(本書)

この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ユーザーガイド(CD-ROMに収録)

カメラのセットアップの方法や、Webブラウザを介したコントロールの方法が記載されています。

設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、ユーザーガイドをご覧になってカメラを操作してください。

CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、本機のユーザーガイド(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語)がPDF形式で記録されています。

準備

付属のCD-ROMに収録されているガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

Adobe Reader 6.0以上

Adobe Readerがインストールされていない場合は、次のURLからダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/>

マニュアルを読むには

1 CD-ROMをディスクドライブに入れる。

表紙ページが自動的にWebブラウザで表示されます。

Webブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROMに入っているindex.htmファイルをダブルクリックしてください。

2 読みたいマニュアルを選択してクリックする。

マニュアルのPDFファイルが開きます。

「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

ご注意

• Adobe Readerのバージョンによってファイルが正しく表示されないことがあります。

「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

• CD-ROMが破損または紛失した場合、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください(有料)。

AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

使用・保管場所について

非常に明るい被写体(照明や太陽など)を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

• 極端に暑いところや寒いところ(使用温度は-30°C~+50°C)

• 暖房器具の近く

• 強い磁気を発するものの近く

• 強い電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

• 強い振動や衝撃のあるところ

• 基板を手で直接さわらないでください。

• 天候(雨など)によってフォーカスが合わない場合は手動で調整してください。

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

輸送について

• 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。

• 輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を免えないようにしてください。

寒冷地での使用について

• 本機には、低温環境下においてもカメラ本体が動作するよう、ヒーターが内蔵され、内部温度が低下すると自動的に動作します(PoE使用時を除く)。このヒーターによってドームカバーおよび外殻に付着した雪や霜を解消することは出来ません。設置場所を充分ご確認の上、ドームカバー部分に雪が溜まる、または吹付ける環境は避けてください。

• 内部結露防止のためにシリカゲル(4-267-409-01)を購入される際には、お買い上げ店またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

低温環境での起動・終了について

-10°C以下の環境で起動すると、起動直後はカメラ本体システムが動作しないことがあります。その場合、ヒーターが動作して内部温度が上昇後にカメラ本体が起動します。正常な画像が得られるまでに2時間程度かかる場合があります。

お手入れについて

• レンズの表面に付着したごみやほこりは、プロアードで払ってください。

• 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。

• アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためられ、表示が消えたりすることがあります。

カメラを屋外に取り付けるとき

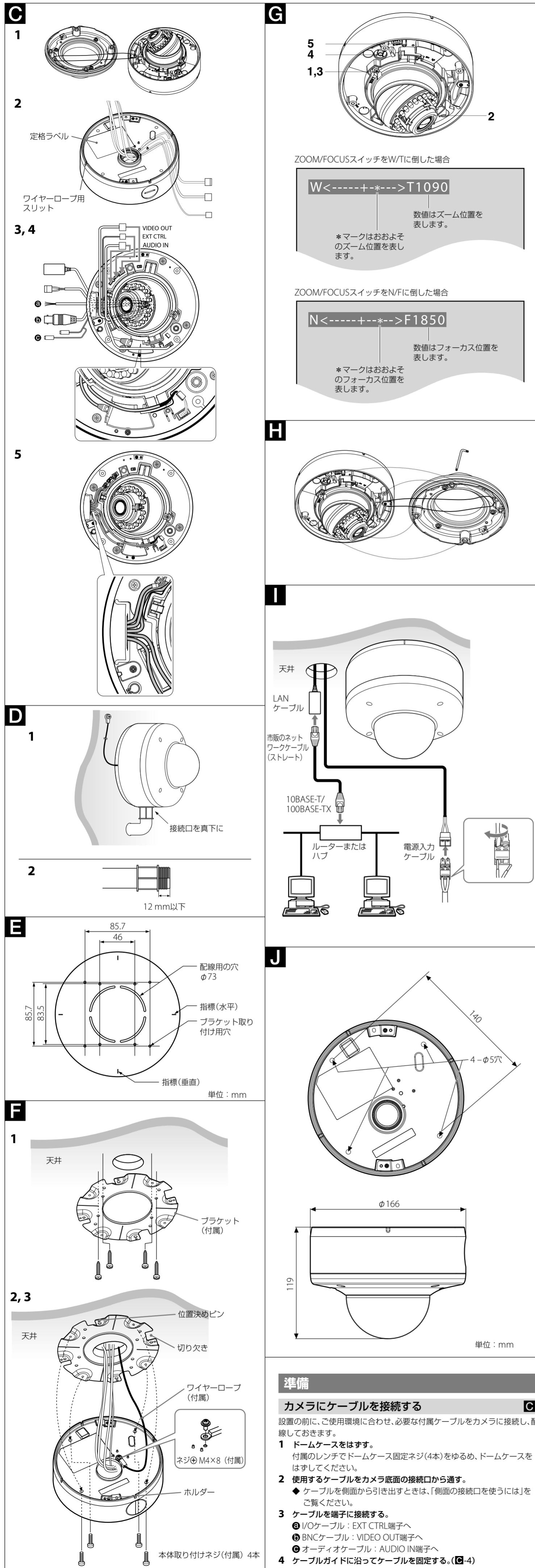
カメラ本体とドームケースをしっかりと取り付けてください。

カメラ本体に湿気が入り込まないように、シーリング材(シリコンシーラントなど)で次の場所を密閉してください。カメラを取り付けるときは、なるべく湿度の低い環境で行うことを推奨します。

• カメラ取り付け用ネジ穴(4か所)

• 接続口(本体ケースの側面と底面)

異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。



侧面の接続口を使うには
出荷時は底面の接続口から電源ケーブルとLANケーブルが接続されています。側面の接続口から引き出したい場合は以下の手順に従ってください。
 ① 側面の接続口カバーをはずす。
 ② 各種ケーブルをコネクターからはずし、底面の接続口からケーブルを取り出す。
 ③ 必要なケーブルを側面の接続口から差し込み、コネクターに接続する。
 ④ ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定する。(C-5)
 ⑤ はずした接続口カバーを底面の接続口に取り付ける。

ご注意

- ・底面の接続口が汚れていると、接続口カバーがうまく取り付けられず、カメラ本体に雨などが入り、故障の原因になります。柔らかい布などで汚れを拭き取り、しっかりと締めて取り付けてください。
- ・雨などを防ぐため、パイプやカバーを取り付けたあとに、シリコンシーラントなどで密閉してください。
- ・雨などを防ぐため、壁などに縫に取り付けるときは、側面の接続口が真下に来るよう取り付けてください。(D-1)
- ・カメラ本体の内部が傷つかないように、パイプやカバーはネジ部分が12 mm以下のものを使ってください。(D-2)

設置

△警告

カメラの取り付け位置を決める

カメラの撮影方向を決めてから、付属のテンプレートを使って配線用穴(Φ73 mm)をあけ、ブラケット取り付け用穴(4か所)の位置を決めます。

取り付けネジについて

付属のブラケットにはΦ4.5 mmの穴が8か所あいています。このうち、4か所を使ってブラケットを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。(ネジは付属していません。)

鋼材の場合：M4ネジとナットで固定してください。板厚は15 mm以上必要です。

木材の場合：タッピングネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15 mm以上必要です。

コンクリート壁の場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。

ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

△警告

設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

カメラを取り付ける

1 付属のブラケットを天井や壁に取り付ける。

使用するネジについては、「取り付けネジについて」をご覧ください。

2 付属のワイヤーロープをカメラと天井、または壁に取り付ける。

① 付属のネジ④ M4×8で、カメラ底面のワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。

② ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。

カメラを壁面に設置するときは、ワイヤーロープ用スリットにワイヤーロープを通してください。(D-1)

3 付属の本体取り付けネジ(4本)でブラケットにカメラ本体を取り付ける。

ネジには脱落防止機構があります。ネジをカメラのネジ穴に差し込んだ状態でカメラ本体を逆さにしても、ネジは落下しません。

カメラ本体のホルダー(2か所)をブラケットの切り欠き(4か所)のうち2か所に差し込み、カメラ本体を時計方向に回して、位置決めビンをホールドの穴にめぐでてください。これによりカメラ本体のネジ穴(4か所)とブラケットの突起の位置が揃います。突起は90°ごとに4か所ありますので、カメラの向きを4方向に設定できます。

カメラのネジ穴に差し込んだ本体取り付けネジ(4本)を締めて、カメラ本体をブラケットに固定してください。

ご注意

天井や壁に取り付けネジを使えない場合や、カメラ本体を自立させたくない場合は、天井埋め込み金具YT-ICB45(別売)をご使用ください。

天井埋め込み金具でカメラを取り付けるときは、天井埋め込み金具の左右金具の固定ネジを、図の位置に固定してお使いください。詳しくは、天井埋め込み金具の取扱説明書をご覧ください。

撮影方向と撮影範囲の調整

1 カメラヘッド固定ネジをゆるめる。

2 カメラを調整して、撮影したい方向にレンズを向ける。

3 カメラヘッド固定ネジを締めてカメラを固定する。

4 ZOOM/FOCUSスイッチをW/Tに倒して画角を合わせる。

モニター画面にズームインジケーターが表示されます。

5 Easy Focusボタンを押して自動でピントを合わせる。

6 希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1～5を繰り返す。

ご注意

・カメラヘッド固定ネジをゆるめずにカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。

・カメラヘッド押えの切り欠き部にレンズが入っていないと、カメラヘッドの可変範囲が制限されます。

・カメラヘッドの動きが重く調整しにくい場合は、スムーズに動くまでカメラヘッド固定ネジをゆるめてください。

・角度調整をする場合は、カメラヘッド部に刻印されているTOPを天井側に設定してください。TOPの刻印を床側に設定すると、映像が逆さまになります。

・被写体の位置や撮影状況によって、Easy Focusボタンでピントが合わないときはZOOM/FOCUSスイッチをN/Fに倒してピントを合わせてください。モニター画面にフォーカスインジケーターが表示されます。

・ドームケースを取り付けることによって多少のボケが生じる場合があります。システムメニューでフォーカス調整を行ってください。

詳しくは、「ユーザーガイド」をご覧ください。

ご注意

レンズを360°以上回転させないでください。内部の配線が破断され、映像が出力されなくなるおそれがあります。

ドームケースを取り付ける

ドームケースとカメラ本体を固定する。

ドームケースのネジ穴とカメラ本体のネジ穴を合わせ(4か所)、付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をしっかりと締めます。

ご注意

コードが、ドームケースとカメラ本体の間にさまらないように注意してください。コードを回して、ドームケースをカメラ本体に取り付けるときの位置を調整してください。

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANケーブルとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピューターへ接続するには

市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANケーブルとコンピューターのネットワークコネクターを接続します。

電源の接続

本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。

• DC 12V

• AC 24V

• IEEE802.3af準拠の電源供給装置(PoE*方式)

* PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意

電源入力ケーブルとLANケーブルの両方から電源が供給された場合、LANケーブルからの電源が優先されます。

DC 12VまたはAC 24V電源への接続

本機の電源入力ケーブルをDC 12VまたはAC 24Vの電源供給装置へ接続します。

• DC 12VまたはAC 24Vは、AC 100Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。

• DC 12V: 10.8V～13.2V

• AC 24V: 21.6V～26.4V

• DC 12VまたはAC 24Vの接続には、ULケーブル(VW-1 style 10368)を使用してください。

推奨電源ケーブル

DC 12Vの場合

ケーブル(AWG)	#24	#22	#20
最大ケーブル長(m)	4	6	9

AC 24Vの場合

ケーブル(AWG)	#24	#22	#20
最大ケーブル長(m)	13	23	30

IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続

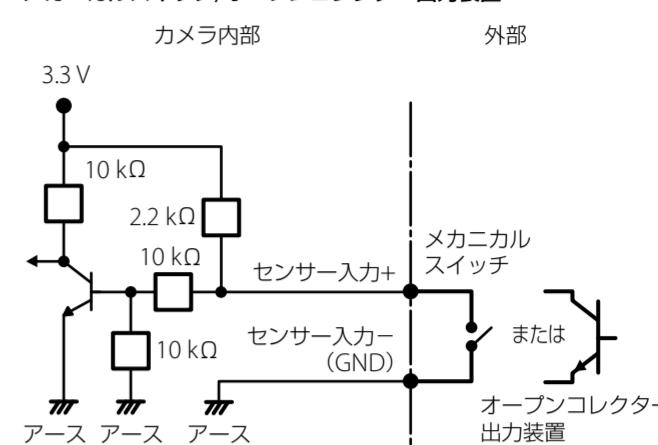
IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

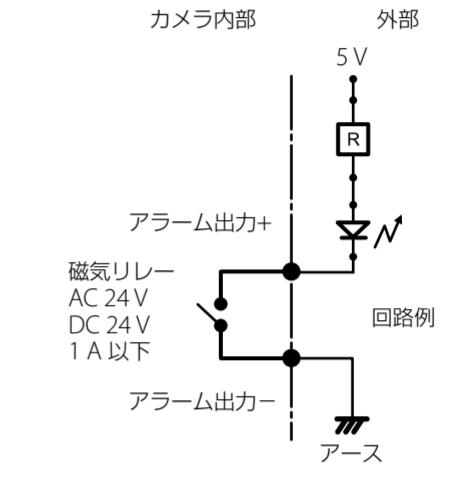
センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクタ出力装置



アラーム出力への配線図

カメラ内部



主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式 JPEG/MPEG4/H.264

音声圧縮方式 G.711/G.726 (40, 32, 24, 16 kbps)

最大フレームレート SNC-DH180 : H.264 : 30 fps (1280 × 720)

SNC-DH280 : H.264 : 30 fps (1920 × 1080)

カメラ

赤外線LED 21 pcs

赤外線照射距離 SNC-DH180 : 30 m (50 IRE)

SNC-DH280 : 30 m (50 IRE)

信号方式 NTSCカラー/ PALカラー切り換方式

SNC-DH180 : 1/3型CMOS (Exmor) 有効画素数 : 約139万画素

SNC-DH280 : 1/2.8型CMOS (Exmor) 有効画素数 : 約327万画素

同期方式 内部同期

水平解像度 600 TV本 (アナログビデオ)

映像S/N 50 dB以上 (AGC 0 dB時)

最低被写体距離 SNC-DH180 : F1.2 / View-DR オフ / VE オフ / AGC 高 / XDNR 中 / 50 IRE (IP)

カラー : 0.20 lx 白黒 : 0 lx (IR オン)

SNC-DH280 : F1.2 / View-DR オフ / VE オフ / AGC 高 / XDNR 中 / 50 IRE (IP)

カラー : 0.40 lx 白黒 : 0 lx (IR オン)

レンズ

焦点距離 3.1 mm ~ 8.9 mm

最大口径比 F1.2 ~ F2.1

SNC-DH180 : 1280 × 1024のとき 垂直 : 67.4° ~ 25.0° 水平 : 85.4° ~ 31.2°

SNC-DH280 : 1920 × 1440のとき 垂直 : 65.2° ~ 24.2° 水平 : 88.5° ~ 32.3°

最近接撮影距離 300 mm

インターフェース

LANポート 10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション(RJ-45)

I/Oポート センサー入力 : ×1、MAKE接点、BREAK接点

アラーム出力 : ×2 (最大AC/DC 24V、1 A)